

第 127 回日商簿記 2 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
貯 蔵 品	品	仮 払 法 人 税 等	備 品	の れ ん
創 立 費	費	株 式 交 付 費	買 掛 金	未 払 法 人 税 等
資 本 金	金	資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	固 定 資 産 売 却 益
仕 入	入	支 払 手 数 料	の れ ん 償 却 額	売 上 割 引
法 人 税 等	等	租 税 公 課	固 定 資 産 売 却 損	固 定 資 産 除 却 損

1. 淑徳物産株式会社は、増資にあたって 1 株につき ¥ 40,000 で新株を発行した。ただし、定款に記載されている発行可能株式総数は 2,000 株であり、会社設立時に 500 株発行していたので、今回は発行可能な株式数の上限まで発行し、その全株式について引受け・払込みを受けた。払込金は当座預金とし、会社法における最低限度額を資本金に計上した。なお、増資のために要した手数料 ¥ 1,000,000 については、現金で支払った。
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. いりなか商店を現金 ¥ 10,000,000 で買収した。なお、買収時のいりなか商店の資産・負債は、売掛金 ¥ 7,000,000 、商品 ¥ 5,000,000 、および買掛金 ¥ 3,000,000 であった。
4. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
5. 決算にあたって、税引前当期純利益 ¥ 1,000,000 の 40% を法人税、住民税および事業税に計上した。なお、¥ 250,000 については、当期中に中間納付をしている。